

平成29年10月～12月期平均及び平成29年平均 労働力調査都道府県別結果 (モデル推計値)の概要(広島県)の公表について

平成30年3月2日
統計課

※ 総務省統計局は、平成18年度から、労働力調査の都道府県別結果(モデル推計値)を公表しています。
この概要は、平成30年3月2日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。

[完全失業者・完全失業率]

・ 広島県の平成29年10月～12月期平均の完全失業率(労働力人口に占める完全失業者の割合)は2.3%と前年同期(2.3%)と同数値(図1参照)。都道府県別では低い方から25番目。

また、平成29年平均の完全失業率は2.4%と、前年(2.7%)に比べ0.3ポイントの低下。

・ 広島県の平成29年10月～12月期平均の完全失業者数は3万4千人と、前年同期(3万4千人)と同数値(図2参照)。

また、平成29年平均の完全失業者数は3万5千人と、前年(3万9千人)に比べ4千人(10.25%)の減少。

[就業者]

・ 広島県の平成29年10月～12月期平均の就業者数は142万8千人と、前年同期(141万9千人)に比べ9千人(0.6%)の増加(図3参照)。

また、平成29年平均の就業者数は141万9千人と、前年(141万人)に比べ9千人(0.6%)の増加。

